

第19回 品川区学事制度審議会 会議録(要旨)

日 時:平成 30 年 3 月 22 日(木) 16:00~17:00

場 所:353・354 会議室(品川区役所第三庁舎 5 階)

出席者:

委員	(出席委員) 名和田委員長、窪田副委員長、樋口副委員長、矢野委員、高林委員、三瓶委員、小宮委員、巻島委員、村田委員、秋廣委員、木下委員、矢田委員 (欠席委員) 金子委員、佐藤委員、山口委員
区側出席者	中島教育長、本城教育次長、品川庶務課長、篠田学校計画担当課長、有馬学務課長、熊谷指導課長、大関教育総合支援センター長、横山品川図書館長、山本統括指導主事、堀井統括指導主事、中山企画部長、柏原企画部参事、伊崎地域活動課長、若生学校計画担当主査

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

(1)最終答申(案)について

委員長:

- ・ 前回の審議会ではほぼまとまりつつあった答申案について、皆様にご一任いただき、両副委員長との協議などを経た最終版をここにお示した。これをもって本日教育長へ答申してよろしいか。

(異議なし)

委員長:

- ・ では、答申として確定させていただく。
- ・ 1年半にわたり、議論していただいた。皆様に支えていただき、ようやく最終答申となった。

4 答申

(名和田委員長、答申文を読み上げ、中島教育長へ手交)

<教育長挨拶>

- ・委員長を初めとする委員の皆様、ありがとうございました。諮問をさせていただいてから足かけ1年半となる。この間 19 回にもわたり様々な課題についてご議論いただいた。特に、中間答申が出た後は、パブリックコメントなどを踏まえて、より細やかな、丁寧な議論をしていただいた。感謝している。
- ・選択できる権利を保障し拡大していくという時代背景の中で、品川区がいち早く取り入れた学校選択制を見直していく、という非常に大きな命題だったと思う。これから少なくとも 10 年の品川区の教育のあり方を示していただいたと思っている。
- ・一貫教育を縦系に、地域とともにある学校づくりを横系にして、そこをしっかりと結びつけてくれるのがこの答申ではないかと考えている。
- ・今後、事業化していくにあたり、丁寧に、適宜検討、説明しつつ、進めていきたい。具現化には時間が掛るかもしれないが、できる限り早く取り組んでいきたい。
- ・最後になるが、委員長、副委員長には様々なご指導いただき感謝している。また委員の皆様にも重ねて感謝申し上げる。

<各委員感想など>

委員:

- ・私自身、小学校を転々としたが、教育の問題は、戦時中からいろいろと変わってきて最近では細かくなった。以前はおおざっぱであった。これから教育関係も段々と良くなっていくのではないかと思う。1年半ありがとうございました。

委員:

- ・この審議会に参加させていただき、良い勉強になった。私は戦後すぐの時期に小学校に通っていたが、PTA会長にしても、何十年も前の頃とでは、話がかかなり違っていたのではないかと思う。
- ・皆さまには体に気を付けて、これからも頑張ってください。

委員:

- ・私も小学校を2つほど移動した。私なりに勉強させていただき、世の中は変わってきているのだと思った。
- ・学事制度審議会の答申の内容が制度化され、今後ますます良くなることを期待している。ありがとうございました。

委員:

- ・私自身、学校と関わりを持ってPTA連合会長という役をいただき、学事制度審議会の一員になった。今当たり前のように2人の子どもが伊藤学園を卒業して、在校生に2人、これからもう1人が伊藤学園に入学するという状況の中で、小中一貫教育を家で子どもたちを通して感じてきた。

- ・ 10 年以上前から小中一貫教育や小中一貫校、義務教育学校についてこれほど真剣に協議をしたうえで進めてこられ、さらに 10 年経って変えていくことが必要だということも、この場にいなければ知ることができなかった。とても大事な経験をしたと思っている。
- ・ あと 11 年、保護者としての立場が続くので、このように大事な議論がされていることを折々で伝えていきたい。品川区の一貫教育が全国のモデルとなるようお願い、子どもたちの成長を見守っていきたい。

委員：

- ・ PTAの会長を 10 年以上やらせていただいた。品川区だけではなく大田区でも、小・中学校とも経験した。審議会ではつたない意見を真剣に聞いていただき、ありがとうございました。
- ・ 親の立場からすると、目の前の先生の質の向上を願っている。今回の学事制度審議会の結果が最終的には先生たちの質の向上に役立てば良いと思っている。

委員：

- ・ 38 年教師をやってきたが、そのうちの 22 年間で品川区でお世話になっている。品川区のために、この学事制度審議会の場で小学校の校長として様々なことを言わせていただいたが、一番は子どもたちのため、そして品川区で働く教師が全力を尽くせるため、と考えていた。
- ・ この答申が実現されるまで、少しでも関わればと思っている。勉強させていただいた。ありがとうございました。

委員：

- ・ これまで自分が歩んできた道として、保護者と地域の観点で意見を言わせていただいた。皆さんに意見をすくい上げていただいて感謝をしている。この学事制度審議会に携わって、この制度が導入されたときの姿がどうなっているのか、今から楽しみで仕方がない。期待している。ありがとうございました。

委員：

- ・ コミュニティ・スクールが立ち上がってまもなく、この学事制度審議会の声がかかって、自分では何をするために居るのか自問自答の1年半であった。学事制度審議会での議論はコミュニティ・スクールで役立つものもたくさんある。学校地域コーディネーターはそれを生かしていく役目があると考えている。
- ・ 今置かれている学校と保護者の関係は、私が以前PTAに関わったときと変わってきている。制度がいろいろと変わることによって意識も良い方向に変わるといいと思っている。自分が住む地域の課題も見えているため、その解決に向け力を注ぎたいと思っている。

委員：

- ・ 学校地域コーディネーターとして教職員と一緒に学校で仕事をしていて、学校と保護者の間に居るが、まだ保護者としての感覚が強い。そのようなところがこの学事制度審議会ですごくお役に立てたなら良かったと思う。

委員：

- ・この学事制度審議会に参加させていただき、改めてお礼を申し上げます。いろいろな自治体でこういった審議会に関わっているが、これだけ丁寧に議論したのは初めてである。
- ・学区域、学校選択制の結論としてはこれまでの制度を大きく変えるものであるため、区民だけではなく、小中一貫教育を行っている自治体にも、かなり大きな影響を及ぼすのではないかと考えている。
- ・この学事制度審議会と同時並行で、品川教育検討委員会で教育の中身の議論もしてきた。こちらがハード面としたら、品川教育検討委員会はソフト面になると思う。学習指導要領が変わるため、それらを睨みながら進めてきた。学区域や学校選択制の枠組みとの中身の部分とが重なる形で品川区の一貫教育が発展していくと良いと思う。
- ・小中一貫教育に関わり全国で呼ばれて話をしている。それだけ小中一貫教育が注目され、これからますます活発になってくるということである。品川区はこれからも小中一貫教育のトップリーダーとして進んでいくと思われる。
- ・最後になったが、両方の委員会に関わってきて、委員の方々や事務局にお世話になったことを御礼申し上げます。

委員：

- ・諮問にある学校選択制と義務教育9年間の一貫教育、地域との連携のあり方など、学校選択のもとで義務教育9年間の一貫性をどうつくるか、ある意味違った方向を向く仕組みをどう扱うかという、大変難しい課題に取り組んできたと思う。
- ・私もいくつかの自治体で学事制度、地域との小中一貫教育に関する話をしてきた。学校選択制を採っていないところは学校と地域の関係性を築きやすいと思われがちだが、むしろあまり意識しないため、どう取り組むかを真剣に考えなくても済んでしまうところがある。一方、品川区は学校と地域の関係をどう作るかを真剣に考えており、隣接する学区から選べるという仕組みは非常に素晴らしいアイデアだと思っている。区民の皆様に理解していただき、学校選択制の良さと地域連携、一貫教育の良さが両立するということを示してほしい。

委員長：

- ・最後に私からお話させていただく。教育のことは専門外であるが、学校地域コーディネーターや教育委員会がこういった仕事をしているのか知りたい、あるいは品川区の町会長・自治会長やPTAの方が委員として参加されるということで、地域の様子を知ることができるのではないかと、といった動機もあって委員長をお引き受けした。結果的にはとても勉強になっている。両副委員長先生にサポートいただいて、学事制度についてどのように考えたら良いのか導いていただいた。
- ・自分自身の研究において役に立ったという目先の話ではなく、ここで学んだことは私にとって非常に大きなものがあった。
- ・ひとことで言うと、品川区の市民性の魅力のようなものを感じた。議論していくなかで、町会長・自治会長、PTAの方々、校長先生など、それぞれが素晴らしいご見識をお持ちで、かつこういった場で発言してくださる。事務局はそれをきちんと受け

止め、丁寧にまとめていただいた。じっくり時間を掛けて議論を重ねたという実感がある。非常に良い仕事ができたと感じている。

- ・この答申を最後にまとめていく過程で、教育委員会以外の部局にも意見をいただいた。その意味では教育委員会だけではなく、区が一丸となり取り組んでいただいた。区役所も学校も地域の方々もこの課題に前向きに取り組んでいる姿から品川区が良い自治体だという思いをもった。
- ・以前、町会・自治会のあり方の検討に携わったが、その時も品川区の町会・自治会は良い取り組みをしているという印象をもった。
- ・学事制度審議会は足かけ1年半、長く携わった。答申に至ることができ感慨深く思う。長い間お付き合いいただきありがとうございました。

5 その他

特になし。

6 連絡事項

- ・答申および概要版は、3月23日(金)に区ホームページに掲載する。
- ・本日の答申の様子を、区ホームページ上の品川写真ニュースと、品川区フェイスブックのページに掲載予定。
- ・4月11日発行の「広報しながわ」に最終答申の内容のほか、パブリックコメントの回答の抜粋を掲載予定。
- ・パブリックコメントの全回答については、区ホームページ上で公開予定。

7 閉会

以上